

## 会 議 録

会議の名称	平成28年度第4回富士見市社会教育委員会議
開催日時	平成28年9月16日（金）午後7時00分～9時00分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	本間雄一委員、長ヶ原美博委員、吉田廣子委員、 小森重紀委員、武田秀規委員、大根田良夫委員、 岩村沢也委員、田尻 円委員、搦木道代委員 事務局
欠席者	千葉純平委員
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議次第	1. 協議事項 （1）地域活動から見える子どもの居場所について 2. 報告及び連絡事項
会議資料	定期刊行物
会議録確認	本間雄一委員

## 会 議 内 容 (要点記録)

### 1. 開 会

○議長あいさつ

### 2. 協議事項

#### (1) 地域活動から見える子どもの居場所について

事務局より、事前に委員より提出された資料（各地域で行われている活動を対象別に仕分けを行い提出されたもの）について、説明。

【議長】この一覧表を見ながら、意見をもらいたい。

【委員】学校応援団の活動は、学習支援という部分強いと思うが、PTAの活動は、どちらかというと、居場所づくりではないか。PTAは、子どもがいてこそその組織なので、学習というよりも、イベントを行うこと、活動を行うことでの子どもの居場所づくりに寄与しているように思うが、どうだろう。

【委員】確かにPTA活動というと、学習支援とは少し異なるかもしれない。一概には言えないが、校内で行う活動もあり、学校の支援という意味合いも出てくるのではないか。

【議長】分類は、かなり難しいと思うが、委員の中で「学習支援」の活動をやっているという方はいるのか？

【委員】羽沢3丁目だが、夏休みの最後の日に、中学生を対象として学習会を行った。1日だけで、事前に準備をしていたわけではなかったのに、一過性ではあるが、20名ほど集まった。

【委員】PTAの話に戻るが、保護者の立場から育成会や放課後児童クラブなども含め、いろんな行事に関わってくる中で、PTA活動は多岐にわたると思う。廃品回収やトイレ掃除などもやってきたが、それが直接子どもの学習支援につながるかというと、どうかとも考える。子どもが学習するための環境支援という意味合いが強いように思う。親子レクなどは、子どもの居場所づくりがやはり強い。

【委員】育成会がある地域とない地域でも、PTAの役割は大きく異なるように思う。

【委員】会議の中で出た、学習支援については、地域で教えられる場所があればいいということが出てきて、学校で教えている学習の意味と理解している。

【委員】活動をいろいろ考えていると、すべてにつながっているように思う。青少年育成市民会議の宿題教室をみても、居場所にも家庭教育支援にも、学習支援にも、どれにも該当する。

【委員】家庭教育支援の意味をもう一度考えてみたい。

【委員】イメージしているのは、家庭で学校のプリントをみてあげるなどの学力支援的なもの。「親子で」という意味合いが強い。しかし、今は、親にその時間がないため、弊害がでていたりする。故に、親の教育や、生活習慣的なものも含めて、家庭教育支援と捉えるとよいのでは。

【委員】生活習慣というところかというと、雑巾の絞り方もある。雑巾を絞れない子どもが増えているということが言われ、掃除の仕方なども学校で工夫されてきた。「黙々清掃」は成功した例。

- 【委員】以前は、学校に補助で入ると、「掃除は楽しく行うもの」といわれてきた。しかし、最近では、子どもたちが掃除に集中するように「黙って行うもの」として定着している。本当に子どもたちは、黙って一生懸命掃除をしている。
- 【委員】スマホやインターネットなどの危険についても、親向けに行っている。
- 【委員】地域で子どもに関わる中で、「大通りに飛び出さないで駐輪すること」「消しゴムのカスをたくさんこぼしたら、掃除機をかけること」「部屋に入るときは靴をそろえること」など、大人から子どもへ伝えている。こういうことも、ある意味では、家庭教育支援になるのではないかと思っている。
- 【委員】読み聞かせなどは、学校応援団で行っているのだから、学習支援につながると思う。他に、人形劇の活動を行っているが、地域の活動に呼ばれていくときがあるが、それは居場所づくりだと感じている。また別に、公民館などで、「人形劇やるよ」と呼びかけて、子どもたちに来てもらう場合もあるが、これも居場所づくりにつながっていると感じている。
- 【委員】小学校でも大型絵本の読み聞かせがあるが、これは地域の方たちのボランティアで運営されており、朝の少しの時間を使っての学習支援とも捉えられるが、学校に来ているすべての子どもたちに、大型絵本を知ってもらうことで、その日の親子の会話のきっかけにもなったり、地域の人との出会いの場ということでは、居場所ということにもつながってくるのではと感じた。いろいろな支援と組織があればこそ、いろいろな出会いがあったりする。
- 【委員】水谷公民館で行っている地域子ども教室は、まさしく居場所づくりに寄与しており、もともと前身としてあった公民館事業が、子ども教室になっていった。決まった時間、決まった場所でできる活動というのが、子どもたちにとっても、居場所として十分機能していくのだと感じた。
- 【委員】家庭教育や居場所など、キーワードとしてでてきたが、家庭教育支援として、「家庭が居場所にならないといけない」ということを、新任教員や、教師を目指す学生にいつも伝えている。家庭での会話が5分でも2分でも増える努力、仕掛けづくりが必要ではないか。子どもたちの居場所がたくさんできるのはよいことだが、まずは家庭が居場所となり、それをきちんと理解して送り出さないと、意味がなくなってしまう。子どもが学校へいき、放課後ランドセルをおいて遊び、時間になったので帰る。この流れの中で、家庭が居場所であり、きちんとその日の出来事を少ない時間でも話し合えれば、その子どもにとって家庭が居場所になっていくと考えている。会話をする家庭が大事だということを、根気よく伝えていくことが必要。
- 【委員】明日運動会がある。例年、場所取りの行列ができる。保護者が大勢来ることは良いことだが、一方で、交通誘導など学校からPTAに応援要請がくる。いろいろなイベントの会議でも、子どもたちのためにということで、みんなやっているのだが、トラブルが起きる。「自分はこれだけたくさんやっているのに、どうしてあなたはやらないの？」と。余裕がない中で動いていることの象徴のような気がした。親に余裕がない中で、子どもに果たして余裕があるかということ、厳しい。しかし、それが今の現実ではないかと思う。親の意識が変われば、子どもに話す余裕が生まれるのではないか。
- 【委員】今は、居場所を運営する組織や団体の人材不足もいろんなところで聞かれる。そういう中で、家庭が居場所となることは大事。時間の使い方が、数十年前

と変わってきている気がする。運動会の昼食の取り方も、親子か子どもだけかということで、学校によって異なっているときく。

【委員】以前川越の学校で、1,000人規模であったが、親子で食べることを試みた。その日、都合で保護者が来られない児童については、朝礼台に集合するよう伝え、保護者や友達が一緒に食べようと呼び掛けに来てくれて、結果、子どものみで昼食をとる子はいなかった。いろんなものをダメと決めつけるのではなくて、仕掛けをしていくことが必要。数年前のアンケートだが、一番好きな教師は「遊んでくれる教師」、一番好きな親は「一緒に何かをしてくれるお父さん・お母さん」という回答がでていた。夕ご飯を作るときに、ほんの少し一緒に野菜を切ったりするだけでも、子どもは満足感を得る。

【委員】引き渡し訓練も、「誰も迎えに来なかったら・・・」というところでは、運動会のお弁当の「誰も一緒に食べる人がいなかったら・・・」と通じるものがあると感じている。

【委員】表の分類についてであるが、各委員がそれぞれの活動を分類したが、例えば「応援団」「PTA」「町会のお祭り」などの大きな括りで考えた方がまとまるのではないか。前回現状は多くでてきていたので、大きな枠で全体の現状を整理すると、課題や方向性がでてくると思う。

【委員】今一度、3つのテーマについて境界を整理したい。家庭教育支援については、「しつけ」、学習支援については、「学力や勉強そのもの」、居場所については、表現しがたいが「子どもの居場所」でよいかと思う。

【委員】公民館や児童館に行く子どもたちが増えているようにも感じるが、最近では「親の教室」も施設でやっていると聞く。そういうのも大切かもしれない。

【委員】現状を維持していくこともだが、新しい活動を地域でやろうと思っても、新しい人材がなかなかいない。新しい人材の確保ができないと、なかなか地域が活性化しない。

【委員】退職された元気なシニアの方は多いと聞くが、掘り起しが必要では。

【議長】来月からの方向性についてだが、3月に向けて、まとめに入っていきたいと思っている。

【委員】以前、自己肯定感の話が出ていたと記憶している。家庭に居場所がないゆえに、認められている感覚がなく、そのような中で育つ子どもが大人になるという意味で、居場所がなぜ必要かというところにつながってくるのでは。今の子どもというより、将来の成長まで視野に入れたうえで、居場所の必要性を考えると、自己肯定感という言葉は密接に関わってくると思う。

#### \*次回について

事務局がシートを作成し、会議録と一緒に送付。現状については、分野ごとに分けて考え、それぞれテーマ（家庭教育支援・学習支援・居場所）にどのようなつながっていくのかを考える。シートに各委員が記入。次回会議はその資料をもとに、「現状・課題・提案」について検討。

3. その他

次回会議日程

平成28年度第5回会議

日程：平成28年10月24日（月）午後7時～

場所：教育委員会 2階 会議室

4. 閉 会

○副議長あいさつ